

本日は規制改革推進会議の第一回でありながら、即位の礼饗宴の儀に参列のため欠席となり大変申し訳ございません。

エネルギーと、気候変動問題を中心とする環境問題を研究しております国際環境経済研究所の竹内純子（たけうちすみこ）と申します。本委員会では皆様にお世話になるかと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

初回にあたり、わたくしの規制改革に関する問題意識を 2 点お伝えし、ご挨拶に代えさせていただきますたく存じます。

まず 1 点目はスピード感です。現代社会におけるテクノロジーの進化と社会の変化のスピードは従前と比較できないほど早まっております。従来型の規制手続きのステップを踏んでいては、せっかくの技術進歩を活かすこともできませんし、社会の変化に追いつくこともできません。スピード感ある規制改革は本会議が設立された趣旨そのものであり、これまで本会議の議論に参加された諸先輩方もこの点を強く意識して取り組んでこられたものと拝察しております。今回ご一緒させていただきます皆さまとも、スピード感を意識して議論させていただきたいと考えております。

2 点目は、規制による費用対便益です。わたくしの専門とする環境分野は特にその傾向が強いかもしれませんが、規制によって国民が負担することになるコストを意識することなく、強化され続けるということがしばしば見受けられます。例えば米国と比較して、わが国の規制行政には、費用対便益に関する意識が薄いと感ずることが多くあります。現世代のみならず将来世代も含めた費用対便益を明確にする努力を、わが国の規制行政にも求めていますと考えております。

まだ多くの問題意識、課題認識がございますが、それらを皆様と共有し、一つずつ解決に向けて貢献したいと願っております。

どうぞよろしく願いいたします。

2019年10月31日

国際環境経済研究所

竹内純子